

## 「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者: 玉尾 ひとみ

日時	2022 年 9 月 29 日(木) 10 時 00 分 ~ 15 時 00 分	天候	曇/晴	コース名: 第 33 回よりみちクラブ		
案内団体 又は催事 名	京都・蹴上から南禅寺・黒谷・吉田山を巡る			人数	大人:16 名	

日 時:2022 年 9 月 29 日(木)

集 合:京都市営地下鉄 蹴上駅改札口 10 時 00 分

ガイド:ならなぎ会員 山下さん

行 程:蹴上駅→琵琶湖疎水→南禅寺(南禅院・法堂・三門)→南禅寺界限別荘群→岡崎神社  
→金戒光明寺(昼食)→真如堂→吉田山荘→宗忠神社→吉田神社(解散)→京阪出町柳駅

出席者…山下(ガイド)・木邨・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・福島・森・竹山・久賀田・山岡・米田・堀内(け)  
奥山・神田・樋野・嶋田・服部・計 16 名

琵琶湖疎水:明治の時代、京都再生の願いを託し琵琶湖から京都へと水を運ぶ第一疎水が完成。当初、水運、水車を動力とした産業の復興を計画されたが、途中、水力発電に計画変更され、京都の近代化に大きく貢献した。その後、電力需要、水道需要が増え、全区間トンネルの第二疎水が完成した。疎水到着地の蹴上舟溜りと南禅寺船溜りとの間に 36m の高低差があり、水上の舟を線路上の台車に乗せて運ぶインクライン(傾斜鉄道)の設備を間近に見た。山下さんの説明に納得。その後疎水の流れに沿って歩く。

南禅院 : 南禅寺の発祥地といわれている。この付近、亀山上皇の離宮であったが、「夜な夜な妖怪なる出来事」が起り、それを東福寺の無閑普門禪師が鎮め、それに感激した上皇は、離宮を差し出して「禅寺にせよ」と言われた。これが南禅寺創建のいきさつ。  
門前の水路閣は、当初造る計画はなかったが、当初のルート近くに亀山法皇の分骨所があり、計画変更され、現ルートとなり水路閣が造られた。  
レンガ造りのアーチ橋で南禅寺の風景とマッチして美しい。

南禅寺 南禅寺は最初の禅寺の勅願寺。故に京都五山の上に置かれ「別格」とされる。中心となる法堂、三門をゆっくり観て歩く。有名な三門は高さ22m の二階建て二重門で、東大寺南大門より少し低いが横幅は広い。東大寺南大門は二重門(吹き抜け)なので、柱は二階相当部分までであるが、南禅寺三門は二階建てなので支柱は一階部分まで。二階相当部分まで届く東大寺南大門の柱の高さを改めて実感する。

南禅寺界限別荘地:明治に入り上知令により、南禅寺から境内を召し上げ、水車を動力とした工業団地を建設しようという計画があったという。計画が水車動力から水力発電に切り替わったことで、高級別荘地に変身。  
今では大富豪経営者のステイタスとなっている。ユニクロ、ZOZO、ニトリが購入しているという。もし工業地帯になっていたら、細川家の御曹司の下宿ではなく、私の下宿があったかもしれない。

金戒光明寺:京都ではくろ谷さんと呼ばれる浄土宗のお寺。石の五劫思惟阿弥陀如来さんがお墓の中に立っておられる。なぜか懐かしい! 寿限無! 寿限無! 境内でお弁当。  
幕末、京都守護職会津藩一千名の本陣にもなった。それは家康がいざという時の根城として築いたことによるらしい。重厚な高麗門は城に造られる形式の門なのだそうだ。

真如堂: 比叡山延暦寺を本山とする天台宗のお寺。特に女性を守る本尊「うなずきの弥陀」が安置されているという。境内は静謐な空気が流れている。紅葉の名所。ぜひまた訪れたい。

吉田神社:

**大元宮** 大元宮は室町時代、吉田兼俱は独自の吉田神道を唱え、これを具体的に実現する場所として、1484年、ト部家邸内にあった斎場を移建し、大元宮を中心とする斎場所を造営した。大元宮には、天神地祇八百万神が祀られ、その周囲に内宮・外宮と全国の延喜式内社 3132 座が祀られた。1665 年、江戸幕府が発布した諸社禰宜神主法度により、吉田家は全国の神社の神職の任免権(神道裁許状)などを与えられ、明治になるまで神道界に大きな権威を持っていた。  
萱葺八角形の本殿はユニーク。

**本殿** 本殿は 859 年中納言藤原山蔭が古くからの霊域であった吉田山に春日の四神を勧請したのが始まり。本殿をお詣りをして解散。京阪出町柳駅が最寄り駅。



(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

10 月間近、なのにまだまだ汗ばむ今日の気温、曇りがちの空模様で良かった。

ガイドの山下さんは今日も熱心に解説してくださった。

ギガフォンを使つての案内なので、10 人を越えても聴き取りやすかった。

今回の距離は、行程をクリアする毎に吉田山を少しずつ登っていく感じで、石段もあったが、10 キロ程度。丁度良かったのではないだろうか。

大観光地京都にあって、今日のコースは比較的穴場だと思う。

疎水にしても桜の名所として訪れることはあっても、その歴史や仕組みを知る機会は少ない。

まして吉田神社の歴史、吉田神道を知る人はほとんど居ないのではないだろうか？

正月 3 日間、節分祭、毎月 1 日に限り、特別参拝可能ということだから、今年のお正月は吉田神社にしようか？と思う。

今日はとても有意義な一日だった。知らなかったことを知って感動を得る！それに勝る幸せはない。

解散後、山下さんの案内で、京都土産『阿闍梨餅』を買いに、百万遍にある京菓子司満月本店まで行った。

店はよりみち客で大繁盛！皆様、お疲れさまでした。

(特記事項)

収入、支出なし。